

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターすまいるキッズ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 15人
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 13人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月2日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・教室数の確保や療育スペースを広々と使用することができ、緑の環境に囲まれながら自然体験を楽しめます。	・刺激の少ないシンプルな室内環境を整え、指示や情報が目で見て分かるような視覚支援を工夫しています。	
2	・保護者支援として、お子さまと一緒に療育に参加できる親子療育を実施したり、ご家族やご兄弟で参加出来る行事を開催し親子で充実した時間を過ごせるよう支援を提供しています。	・行事参加の中で、クリスマス会でのダンス披露やプレゼントが受けとれるよう対応を工夫しています。	
3	・地域や社会生活へ向けた取り組みとして、地域交流やイベントの参加など地域と共生できる場の環境設定について意識しています。	・地域と共生しながら、舞台発表に向けて練習を積み重ねて、自信をもって成果を発揮できるよう取り組んでいます。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所が中学校跡地に入り、建物の古い印象が強い。		・建物の外観や見た目ではなく、支援内容や環境の質を充実できるよう教材や道具を整えていく必要がある。
2	・専門的な支援を行うための人材の確保と人材育成が課題。		・専門的な知識の向上を図るための研修会及び勉強会の強化を目指したい。
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センターすまいるキッズ (放課後等デイサービス)		公表日 令和8年2月27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋数も多く状況によって使い分けている。 ・利用人数に応じて環境を分けて支援を行ったりと対応出来ています。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<ul style="list-style-type: none"> ・人数なや活動内容に応じて職員を配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い職員を配置してほしい。 ・不足している日もあると思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<ul style="list-style-type: none"> ・随時必要に応じて修繕対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーにはなっていない。 ・正面玄関が開閉しづらい。 ・トイレに手すりがない。 ・2階へのスロープの必要性を感じる。 ・玄関は建材店にて、点検及び修繕予定。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		<ul style="list-style-type: none"> ・バルサンを使用し、室内全体の消毒を行っている。 ・換気消毒や天日干し等行い清潔な空間で過ごせるよう工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絨毯のはがれや汚れなどシミが多く、衛生的には適していない。 ・絨毯の厚さや構造的(セメント)にも危険性があり絨毯の取り換えも検討していく必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンや個別学習できる環境を確保しています。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議や毎朝のミーティングの場で、情報共有や意見を出し合っています。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの集計結果を職員間で改善できる点について共有検討し、よりよい支援が提供できるよう努めています。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談の中で、個々の負担面等を聞き取り改善できる業務などについてスリム化できるよう工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の改善や見直しについては、随時対応していく必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体の研修や事業所内の職員研修など職員がむらなく希望に応じて様々な研修に参加出来るよう工夫しています。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動プログラムを作成し、ねらいにそった活動に取り組んでいます。 ・毎月のお便りの中に、活動プログラムについて周知案内しています。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談や聞き取りを行いながら、課題点や支援の方法など支援計画の原案を作成しています。 	
	13	放課後等アセスメント計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議やミーティングの中で職員間の意見や評価をもとに支援計画に反映できるよう努めています。 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本人に必要とされる目標や配慮すべき支援について検討し、職員間で原案の見直しを行っている。 	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	・各担当リーダーを中心に意見を持ち寄りカリキュラムを計画しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・利用児童の要望を取り入れたり、季節や地域のイベント等の情報を収集して活動の活性化に繋げている。	・療育的な観点で教材や道具など設備が十分に整っていない。 ・感覚や運動に特化したプログラムを実施していくために、個々の成長や機能の発達に繋げていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個々に必要な機能的な活動や学習が個別に出きるような環境設定と人員配置が課題である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・それぞれのクラス毎に職員（リーダー、サブ）同志が内容や流れの確認等を確認する。 ・リーダーは個々の状態を記録するために対応職員からの情報を聞き取り個々の状態を把握している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・リーダーは個々の状態を記録するために対応職員からの情報を聞き取り個々の状態を把握している。 ・活動後に振り返りが出来ない場合、翌日朝に全職員と個々の状況について必要な情報を共有する。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・支援後の気づきをスタッフ間で確認し、個々の状況や必要な情報について共通理解できるよう毎朝のミーティングまたは引き継ぎノートを活用して情報共有を行う。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・個々の評価時期に合わせて、支援会議やミーティングの中でモニタリングする。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○	・基本的な生活動作の獲得や様々な生活体験を通して社会性生活していくための知識、技術の習得に向けて支援を提供しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・好きな活動を選択したり、更衣や食事場面において本人の意思を確認する等の工夫を行う。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・基本的には児童発達支援管理責任者が相談支援専門員と連携しモニタリング会議を実施したり、ケース会議に参加し、地域との連携を図っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・年に3回の連絡会を通して、各市町の保健師と地域の現状や課題について情報交換を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・利用児童に関する連絡調整については、主に保護者と行いますが、状況によっては地域の学校との連絡確認を行いながらトラブルの発生がないよう留意しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	・就学に向けては、連絡会を実施したり、移行シートを通じて支援の移行を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	・卒業や転出などの状況に応じて、移行支援諸シートの作成やよろうてファイルを活用しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	・公開療育や施設支援など、外部からの助言アドバイスを得ながらより支援の質の向上に努めています。	・地区の事業所連絡会議を開催し、職員研修として事業所間の課題解決に向けてグループディスカッションを実施しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	・主に運動会やクリスマス会等への行事参加の地域への呼びかけを行っています。 ・高校生や医療機関へのボランティアを要請し、地域交流の向上に努めています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	・管理者及び児童発達支援管理責任者が会議に出席し、各関係機関との情報交換を行っています。	・業務上現場職員の出席が難しい状況です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・外部からの研修会について各御家庭に周知案内をしています。	・事業所内においてペアレントプログラムの実施が出来ていないため、ニーズに応えられるよう準備態勢を整えていきたいです。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	・支援計画書の内容を分かりやすくお伝えし同意を得ている。	・表現において説明しにくい場面もあるが、なるべくわかりやすい表現でお伝えしている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・時期を見ながら、必要に応じて面談を実施し家庭での困りや様子を聞き取りし、助言やアドバイスを行っている。	・保護者によっては、連絡が取れない保護者もいらっしゃる、定期的に難しい場面もある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○	・行事の際など、保護者同士での交流や兄弟間での交流を取り入れながら実施している。	・行事に参加されるご家族は交流は出来ているが、参加されないご家族には交流の場が設けられず、現状全員が出来ているとは言えない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・保護者様からの相談や苦情等については、その日のうちに対応している。担当者が不在の場合についても、連携を図り対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・イラストの活用や身振りなど個々に合う手段で意思を伝え合えるよう日頃から工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・事業所の行事に地域のお子様や校区民や地域の学校に招待をし、一緒に交流出来る場を設けている。また高校生のボランティアをお願いしている。	・学校の行事等や参加される方が少ないのが現状。地域との繋がりで、地域の方に気取頂く事をまず初めていければと思う。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・保護者説明会の際に、資料を添付し説明をさせて頂いている。毎月の避難訓練は必ず実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・様々な災害に応じた避難訓練を定期的衣に実施している。	・職員間で、BCPについて研修会で学び合う必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	・契約時にお子さまの状態や服薬等についての確認を行い、状況など把握する。職員間においてもミーティングで確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・食物アレルギーがあるお子様に関しては、給食の提供が出来ない事を事前にお伝えし、お弁当を持って来てもらうように対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・R7年度に策定した安全計画について、職員及び保護者への周知理解に取り組んでいく必要がある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・R7年度に策定した安全計画について、職員及び保護者への周知理解に取り組んでいく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・朝のミーティングの場に置いて、職員間で情報の共有や対策等を話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・虐待についての全体での研修会は毎年開催し、事業所での研修も今年度は行っています。	・虐待防止に関しては、研修会に限らず日頃の支援の中で課題が浮き彫りになることに対し。その都度継続的に振り返りや確認して行く必要がある。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	・どのような場面でのどのように対応するのかを具体的に説明し、承諾を得て同意書を頂いている。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターすまいるキッズ（放課後等デイサービス）

公表日 令和8年2月27日

利用児童
数 31人

回収数 19人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。				○	・通常の様子がよく分からないので、参観できる機会を設けてほしい。	・プレイルームや体育館など広いスペースを使って、のびのびと身体を動かして活動できるようにしています。 ・戸外活動やウォーキングなど個々の機能に合わせた体力作りに努めています。 ・お子さまの通常の様子については年2回の親子療育の中で紹介させて頂いています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。				○		・定員や児童数に応じて適切に人員を配置しています。 ・お子さまに十分に目が行き届くよう職員を多めに配置対応しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						・トイレや階段手すり及び玄関のスロープを設置し、車椅子でも安全に移動できるよう安全面に配慮しています。 ・個々に合わせて視覚的な情報を提示し、指示が見て分かるように工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。				○	・建物や設備が古い印象です。	・療育室は、視覚的な情報が刺激にならないようシンプルにすっきりした空間に整えています。 ・換気や消毒を行いながら衛生面に留意しています。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		○				・保育士又は児童指導員など、長年児童の支援に携わって頂きながら、個々に応じて寄り添える支援に努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。				○		・令和6年度の法の改正により、支援内容を示すプログラムを作成し、今年度よりホームページにて公表しています。掲載状況を十分に周知できていませんでしたので、公開情報について明確にします。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。					○	・ご家族の方のご希望や集団生活での様子から、目標や課題等について計画目標の中に反映するようにしています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○					・個々の目標を意識しながら関わり、目標達成できるよう支援に努めています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○					・季節の行事や社会体験等の体験、また生活動作に繋がる経験を積み重ね自立に向けたスキル獲得を目指しています。 ・活動内容を自分で決めたり、選択できたりして個々の意思を尊重しながら支援提供できるよう工夫しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。					○	・アンテナをはっているつもりですが、後になって行事を知ることがあり、行事に参加できない。 ・地域交流やイベント参加など、社会体験としての学びや触れ合いを経験できるよう計画し、実施しています。 ・行事を開催する際、配布が遅れてしまい周知がぎりぎりになってしまうことがあるため、早めにご案内できるよう改善致します。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					・食事代や利用料金、負担対象となる加算項目について契約時及び随時必要に応じて内容説明を行っています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		○				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				○		・ペアレントプログラムは実施できていないため、再開に向けて計画中です。 ・研修会については、6月に未就学児対象の就学説明会、3月に歯科についての講話の開催を予定しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。		○				・日々のおさまの様子については、連絡ノートまたは電話連絡に情報を共有しています。また可能な範囲で写真を掲載し、視覚的に活動の様子をお伝えしています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		○			・今年度は面談がありませんでした。	・お子まの様子を共有するための面談が実施できない場合、連絡ノートや電話連絡、また送迎時に直接お話を伺う等、お子まの様子について共有できるよう努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		○				・開催の時期によって、感染症の予防のため行事が中止になることがありました。行事の開催には、ご兄弟の参加も合わせてご家族全員でイベントを楽しんで頂けるよう企画しています。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○				・対子どもだと何度も教える必要があると思います。見た目で感じる事が多いと思います。相談や面談日も、出来る限り保護者の方のご希望に合わせて実施できるよう心がけています。 ・利用児童については、活動の一貫として面談を実施し、個別に相談援助を行っています。	・電話連絡や連絡ノートにおいて相談を受けた場合、その場での返答や後日電話連絡での対応を行っています。相談や面談日も、出来る限り保護者の方のご希望に合わせて実施できるよう心がけています。 ・利用児童については、活動の一貫として面談を実施し、個別に相談援助を行っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○				・連絡帳の写真がとてもありがたいです。	・必要な連絡や情報提供について、電話連絡やご案内を配布する等状況に応じて対応しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。				○	・ホームページがあることを知りませんでした。探してみます。	・行事やカリキュラム、給食に関するお知らせ等については、毎月のおたよりにてご案内しています。 ・SNSの更新はしていませんが、自己評価等の結果の掲載について通知のうえホームページにて報告しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					・契約時に個人情報の取扱いについてご説明し、各関係機関との状況共有について承諾を得て、同意書のご提出にご協力頂いています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				○	・マニュアルの内容はよく分かりません。	・緊急時対応や応急処置、感染症対応マニュアル、避難訓練の様子報告などについて、保護者説明会開催時に資料を添付して紹介しています。 ・保護者の方を含めた訓練は実施できていないため、開催については十分な準備計画のうえ、実施となります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○					・災害に応じた内容で、避難及び模擬消火訓練を毎月実施し、年2回消防の立ち合いによる避難訓練及び点検を受けて安全管理に努めています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。				○		・事業内で安全に過ごせる環境を整備するために、建物内外の安全点検や消防立ち合いのもとで設備点検を定期的に実施しています。 また安全管理として、安全計画の作成が義務づけられ見直しや修正を行いながら計画を策定しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				○		・事業所内で発生した怪我や事故等については、緊急を要する場合必要に応じて通院対応しています。 同時に保護者への連絡を迅速におこない、詳細についてご説明しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	○					・心身ともに安定した気持ちで過ごせることを目標に、環境を整備しながら安心安全な環境を提供します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。		○			・時折、「〇〇さんにたたかれた」など。落ち込んで帰るときがあります。	・個々に必要な支援内容を模索し、のびのびと充実した時間を楽しみながら過ごせるよう療育内容を検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。		○				